

3. 標茶町上流部の河床低下対策

3-1 河床低下の現状と問題点

(1) 河床低下の著しい区間と低下状況

釧路川上流の KP46～73 付近は河床低下が著しく進行しています。

特に KP63～71 区間の低下量は顕著であり、現在においても河床低下が進行している状況にあります。

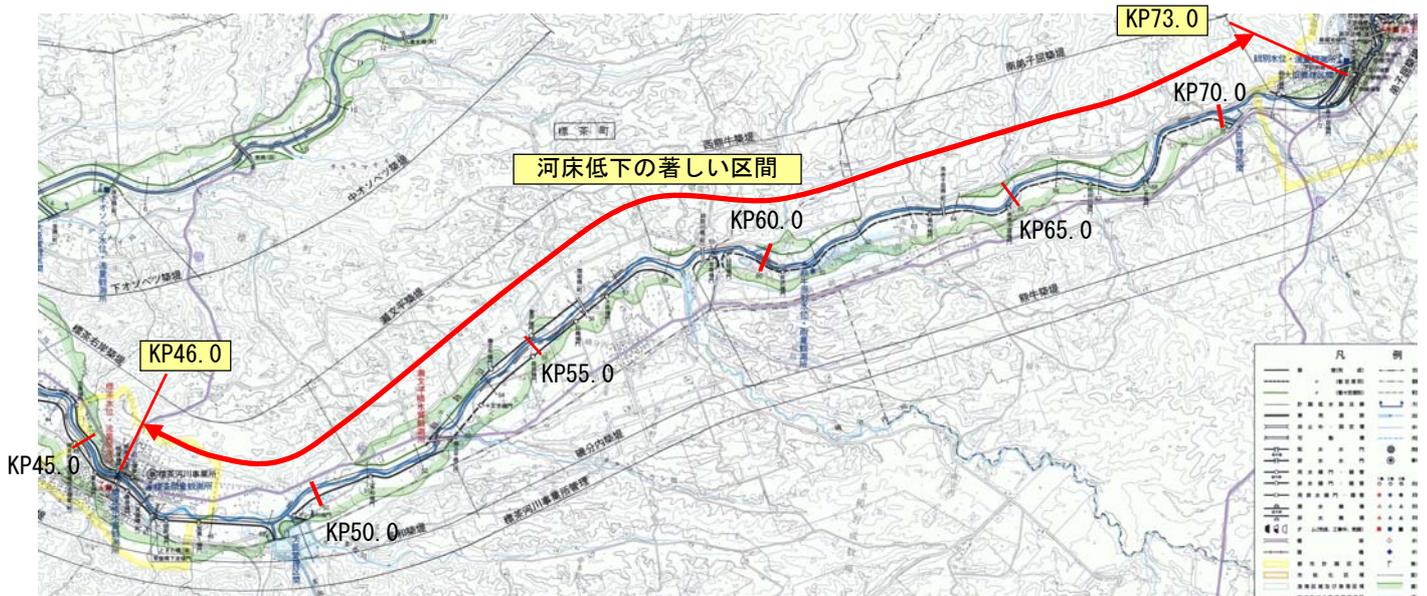


図 2-8 河床低下区間 (釧路開発建設部 釧路川上流管内図(H15)より)

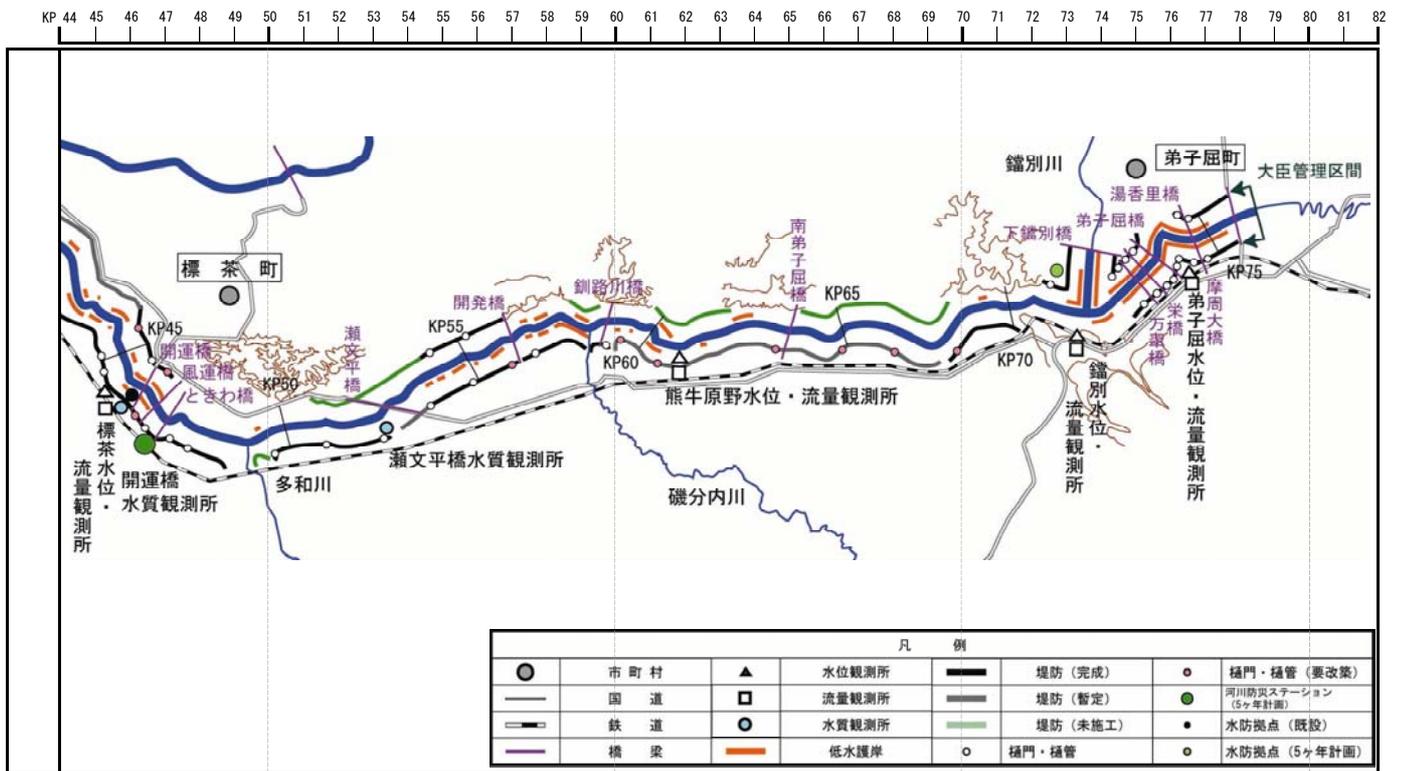


図 2-9 河床低下区間の現況概略図(護岸・堤防状況・樋門管等)

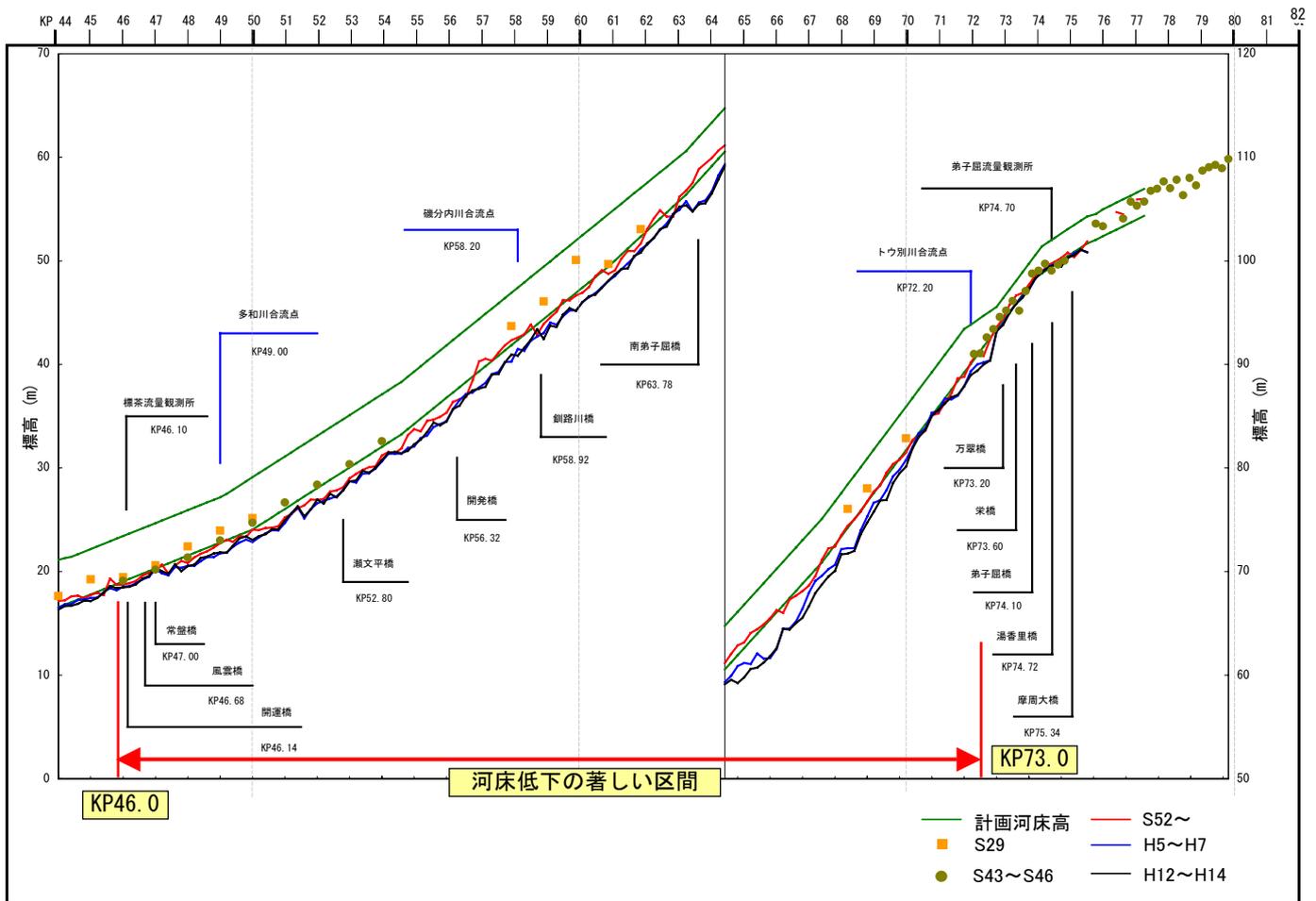


図 2-10 河床低下区間の経年変化縦断図(平均河床高)

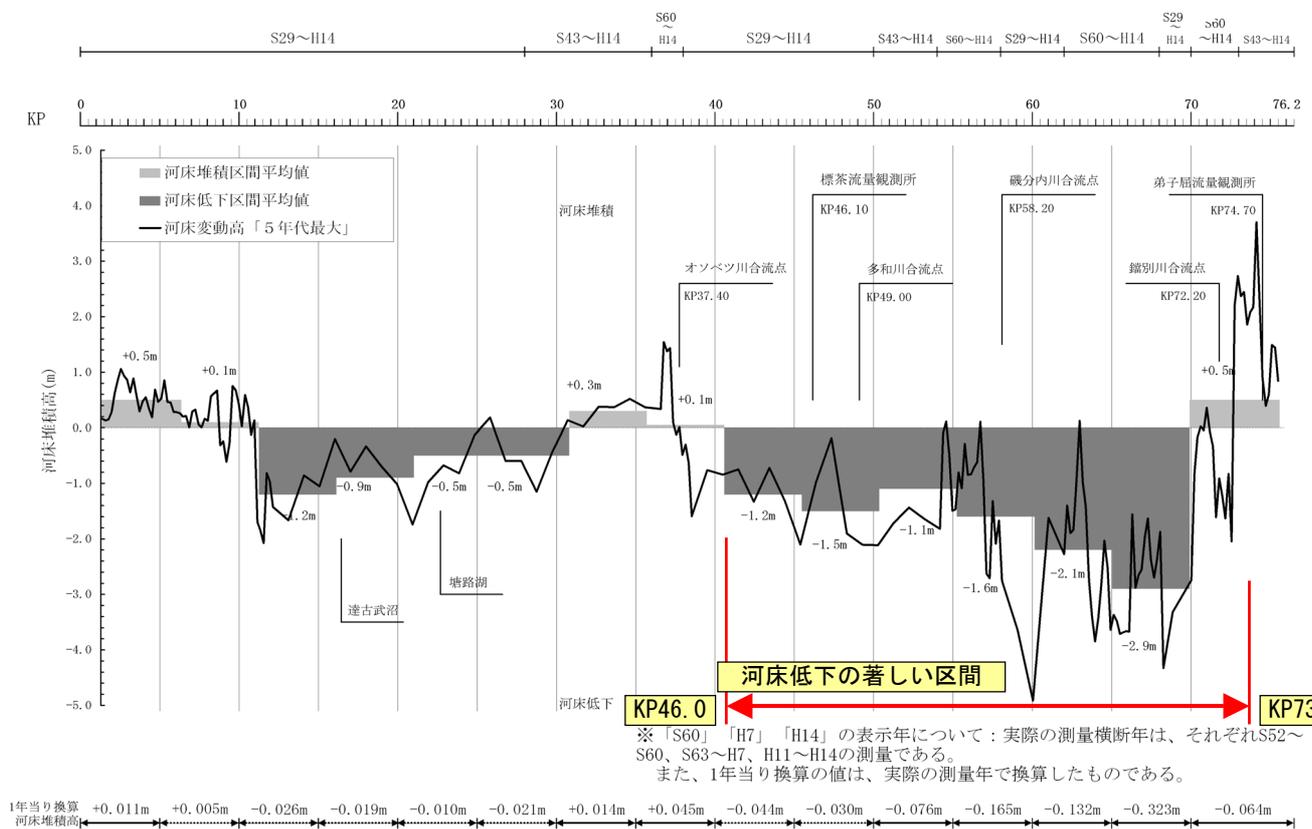


図 2-11 釧路川の河床変動状況(釧路川全区間、平均河床高)

(2) 河床低下の現状と問題点

河床低下を要因として、当該区間では以下のような問題が発生しています。

現 況	現状の問題点
<p>河岸安定化対策工の崩壊</p>  <p>KP69.0 左岸 KP68.6 左岸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・河岸の不安定化 ・堤防決壊の危険性の増大 ・河岸からの土砂流出増大
<p>橋脚基礎部の露出</p>  <p>計画河床高 計画河床高</p> <p>KP63.8 南弟子屈橋 KP59.0 釧路川橋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・橋脚基礎の不安定化 ・洪水時や地震時などに橋脚が転倒する可能性の増大 ・橋梁の安全性低下
<p>河岸の決壊</p>  <p>KP63.20 右岸 KP62.60 左岸</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・河岸浸食の進行 ・堤防決壊の危険性の増大 ・河岸からの土砂流出増大 ・河川環境として重要な河原の減少
<p>支川合流部や樋門接続部の落差発生</p>  <p>KP58.40 磯分内川合流部 KP63.60 堀内樋門</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・水系としての連続性が遮断 ・魚類や水生生物の移動が困難になり生態系への影響が懸念 ・支川の河床低下の要因